



## 質 問 の 内 容

### ① 本当においしい給食はいつになるのか

今年の四月に今まで、各区にあった学校給食センターを1つに統合して、多可町学校給食センターがスタートいたしました。

学校給食が始まった初日から、何が原因か分かりませんが、各学校へ届けるのが約1時間ほど遅れたり、ご飯が柔らかかったり、子供たちが家へ帰って不満を漏らしたそうです。そんな日が3日ほど続いたとの事です。その事が議員の耳にも入りました。

最初は慣れていないとは言え、春休み期間中に試運転はできたはずですが、ご飯が柔らかかったり、芯があったりしてノドを通らないので、お茶と一緒に給食を済ましたが、食べきれずに残した子どもが多かったとの事でした。

4月24日に教育委員会より、「大変迷惑を掛けており申し訳ない。今、メーカーと一緒に努力をしております」とのことでした。その後、一時の批判は薄らいで来たようです。我々議会も試食をしなければならないと思い、教育委員会にお願いをしましたが、「もう少し待つて欲しい」と言う返事でしたが、やっと5月20日に試食いたしました。議員の半数の者から、「芯がある・ちょっと硬い・艶がない・ノド越しが悪い」と言う意見が出ました。100%は無理かも知れませんが建設時に、安価で安全・安心で、おいしい給食を提供をする」と言われた給食センターには、疑問が残ります。その後、おいしいご飯は炊けておりますか？また、新たにスタートするのに担当課の人事異動や、基準を越す増員にも問題があると思う。どんな理由があろうとも、軌道に乗るまでは今まで携わって来た者が担当すべきではないかと思う。省力化と言いながら増員は腑に落ちない。今更申し上げても仕方がないかもしれませんが、炊飯器選びに問題はなかったか？同じ炊飯器を使用している給食センターの試食をしたのか？チップボイラーを導入したために、今の炊飯器メーカーに決定せざるをえなかったのではないか？何を基本に決定したのか？建築設計会社にお任せではなかったか？何はともあれ早急に原因を突き止め、将来のある子供たちの体力を考えれば、おいしい給食を提供するために教育委員会の所見を問う。